

一般質問要綱

令和元年第7回12月定例会

| 通告順 | 議席番号 | 質問者 | 質問事項及び質問要旨 |
|-----|------|-------|--|
| 1 | 14 | 齋藤 仁一 | <p>1 林業再生について</p> <p>(1) 市内林業の現状と実態はどうなっているのか伺いたい。</p> <p>(2) 農林業ビジョンに示されている「隣接する森林の集約化、高性能林業機械の導入、路網の整備及び担い手確保」の取組み状況について伺いたい。</p> <p>(3) 農林業ビジョンに示されている「新たな手法による森林施業」とは何か、また、その取組み状況について伺いたい。</p> <p>(4) 自伐型林業への取組みと推進のための講演会などの啓蒙活動を展開すべきと考えるが、市の考えと対応について伺いたい。</p> |
| | | | <p>2 新市建設計画と今後の大型事業計画について</p> <p>(1) 合併時の計画、新市建設計画で残っている事業は何か。また、未着手事業への対応をどうするのか伺いたい。</p> <p>(2) 市が今後計画している大型事業（ひとづくり・交流拠点複合施設整備事業、市道豊川・慶徳線道路整備事業、都市再生整備計画事業（塩川駅周辺地区）の予算規模及び計画期間について伺いたい。</p> <p>(3) 大型事業の財源確保にどう対応するのか伺いたい。</p> |
| | | | <p>3 財政計画について</p> <p>(1) 中期財政計画に示されている財政運営の基本的方針は堅持されているのか伺いたい。</p> <p>(2) 市債及び債務負担行為額が大幅に伸びている。この要因と今後の見通しについて伺いたい。</p> <p>(3) 財政健全化に向けた対応について伺いたい。</p> |
| | | | <p>4 健康づくりについて</p> <p>(1) 第三次健康きたかた21に示された総合指標の具体的な対応について伺いたい。</p> <p>(2) 市民の健康管理のためには、医師の確保及び診療体制の充実が必要であるがその取組みについて伺いたい。</p> <p>(3) 地域・家庭医療センター「ほっと☆きらり」の医療及び診療体制の現状と今後の見通しについて伺いたい。</p> |
| 2 | 7 | 渡部 一樹 | <p>1 台風第19号による市の対応について</p> <p>(1) 被害状況について伺いたい。また、今後の対応策について伺いたい。</p> <p>(2) 市民への情報発信が不足していたと考えるが見解を伺いたい。</p> <p>(3) 自主避難所を開設しなかった理由について伺いたい。</p> <p>(4) 被災地（者）支援の対応と今後の考え方について伺いたい。</p> <p>(5) 遠藤市政における災害対応の基本方針について伺いたい。</p> |
| 3 | 21 | 山口 和男 | <p>1 V-Lowマルチメディア放送について</p> <p>(1) 平成29年度以前のV-Lowマルチメディア放送に関しての初期投資額はいくらか。</p> <p>(2) 継続費が採択されて以降、今後の必要とされる保守業務委託費等の経費は向こう5年間で毎年どの位の規模になるか伺う。</p> <p>(3) エフエム東京撤退後、事業の継続は可能か。</p> <p>(4) Jアラートを現在まで要請したことはあるか。</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質問者 | 質問事項及び質問要旨 |
|-----|------|------|--|
| | | | <p>(5) 平常時でも月 20 回を限度として市の要請に基づき放送業務を行うとあるが契約書を着実に履行していると理解しているのか。</p> <p>(6) この事業の継続の見通しは、事業停止に追い込まれたら今までの投資額が「水泡に帰す」これに対する対応策はあるのか。</p> <p>(7) いち早く撤退を考えるべきではないか。</p> <p>(8) 防災・災害無線だけなら喜多方シティエフエムで代行できないのか。</p> <p>2 日米 F T A と健康保険について</p> <p>(1) 日米 F T A と健康保険についての考察をお伺いする。</p> |
| 4 | 1 | 矢吹哲哉 | <p>1 台風第 19 号の影響と今後の対策について</p> <p>(1) 本市における台風第 19 号の影響について</p> <p>ア 風速、降水量、河川の水位等について</p> <p>イ 被害の実態とその復旧等に係る対応について</p> <p>(2) 台風第 19 号通過時の市の対応について</p> <p>ア 対策本部等の取組について</p> <p>ア) 情報収集体制と周知について</p> <p>イ) 影響・被害等への強制排水等の緊急的な対応について</p> <p>(3) 台風第 19 号に関する全体についての本市に生かす教訓について</p> <p>2 「まち・ひと・しごと」地方創生 5 年間の取組と今後について</p> <p>(1) 5 年間の取組の到達と評価について</p> <p>ア 取組の到達について（主な目標値と到達数値について）</p> <p>イ 目的とした人口減少、出生率の到達と今後の予想について</p> <p>(2) 来年度以降の取組について</p> <p>ア 国・県の動向、方針について</p> <p>イ 本市の方針について</p> <p>(3) 消費税 10% 中止、全国一律最低賃金、米の価格補償、所得補償等を国に求めるべきではないか。市長の見解を伺う。</p> <p>3 市の財政運営方針について</p> <p>(1) 本年度、マイナス 20% 削減の予算編成について</p> <p>ア 20% マイナスシーリングの影響について、どのように表れているか、市長は具体的に掴んでいるのか伺う。</p> <p>イ 各部署から増額補正、流用等の要望は出ていないのかどうか伺う。</p> <p>(2) 来年度以降の予算編成について</p> <p>ア 令和 2 年度編成をマイナス 8% とした理由について伺う。</p> <p>イ 塩川駅周辺地区整備事業について</p> <p>ア) なぜ、4 億円が 23 億円と約 6 倍にもなったのか。</p> <p>イ) 整備計画等で進めた場合、本市の財政全体はどのようなになるのか。</p> <p>ウ 新市建設計画、大型建設事業計画の抜本的な見直しが必要ではないのか伺う。</p> |
| 5 | 20 | 佐原正秀 | <p>1 障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例の制定について</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質問者 | 質問事項及び質問要旨 |
|-----|------|-------|--|
| | | | <p>全ての人は、障がいの有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されなくてはならない。しかしながら障がいのある人に対する理解が不足していること、適切な配慮が十分でないこと等で生じる差別により、障がいのある人が、日常生活の様々な場面で暮らしにくさを感じている。</p> <p>このような差別は、時としてあってはならない。虐待を生み、障がいのある人の人権が侵害される深刻な事態を招くこともある。障がいを理由とする差別の解消を推進し、共に生きることのできるまちづくりを目指す条例を制定すべきものと考え、お尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 条例の目指す社会について (2) 市、市民・事業者の役割について (3) 就労支援の相談体制について (4) 条例の制定について <p>2 組織機構の見直しについて</p> <p>本市は、豊かな自然環境の中で、四季を通して様々な花資源に恵まれ、花を目的に訪れる観光客も急増しており、これらによる市内の経済効果は大変大きいものと思われまます。旧市町村にはそれぞれ代表的な花があり、それらの花々は市民や観光客の心を癒しております。これらの観光資源を維持、発展させ、観光客の増加を図り、滞在時間の延長や宿泊者数の増加、拡大に努めなくてはなりません。また、新潟市と締結している花でつながる観光交流をさらに推進していく必要があります。</p> <p>現在、観光交流課に「花でもてなす係」がありますが、新たな課を設置し、喜多方の花を一体的に統括、維持管理、PRを図り、新たな観光戦略として「花でもてなす喜多方」をさらに加速させていくべきと考え、お尋ねします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後の総合的な維持管理体制について (2) 花のPR体制について (3) 今後の「花でもてなす喜多方」の対応について (4) 花の課設置について <p>3 リカレント教育の実施について</p> <p>仕事をしながら勤務の前後や休日などを使い、あるいは休暇を取って専門的な知識や技術を習得して自身のキャリアアップや自己研さんを図るリカレント教育の機運が高まっております。</p> <p>終身雇用制度が崩れつつあり、人生100年時代と言われる中で、企業や自治体、国は個人の学びを後押しするといった機運が高まっていることから、職場環境を整備し、学びなおしの人材育成を図るための市の助成制度をつくるべきと考え、お尋ねします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 優良認定する企業の育成について (2) 人材開発支援助成金の対応について (3) 新しいことに挑戦する体制づくりについて (4) 企業の学びに対する後押しについて |
| 6 | 5 | 上野利一郎 | 1 花でもてなす観光施策について |

| 通告順 | 議席番号 | 質問者 | 質問事項及び質問要旨 |
|-----|------|------|---|
| | | | <p>本市の花でもてなす観光施策は、ここ数年で誘客増加と事業の定着がみられているが、自然環境の変化に対応するため、人間が手を加えながら、花の個体数の維持や圃場管理が必要となっています。</p> <p>このため、花でもてなす観光施策に関する以下の2点について伺います。</p> <p>(1) ひめさゆり群生地におけるひめさゆりの個体数の推移について伺います。</p> <p>ア ひめさゆりの個体数の傾向とその理由について伺います。</p> <p>イ 専門家の意見を考慮し、今後、実施すべき対策について伺います。</p> <p>ウ ひめさゆりの球根栽培や播種などによる個体数の維持や増加に関して、行政で寄与できる事業について伺います。</p> <p>(2) 三ノ倉花畑事業について伺います。</p> <p>ア 令和元年の年間入込数及び協力金の昨年との比較並びにその考察について伺います。</p> <p>イ 駐車場増設と高品位化されたトイレの効果について伺います。</p> <p>ウ 夏のヒマワリの開花時期が今年も遅れましたが、播種時期や畑の地力など天候以外の要因があるのかどうか、その理由について伺います。</p> <p>エ 今年の実施結果から見えた今後の課題について伺います。</p> |
| | | | <p>2 有害鳥獣対策事業について</p> <p>有害鳥獣対策事業に関する以下の4点について伺います。</p> <p>(1) 令和元年度の本市における集落研修会や集落環境診断のこれまでの実績と今後の予定について伺います。</p> <p>(2) 会津地方振興局管内で行われたツキノワグマ・ハザードマップ作成研修会を本市でも行うべきと思いますが、その計画について伺います。</p> <p>(3) 有効的なクマ対策としてICTを使った効率化事業の具体的な内容と予想される効果について伺います。</p> <p>(4) 個人で電気柵を設置する場合、今後の支援の方向性と丁寧な相談窓口の設置について伺います。</p> |
| | | | <p>3 市民への対応について</p> <p>本庁や各総合支所における市民への対応に関する以下の2点について伺います。</p> <p>(1) 本庁や各総合支所における市民への窓口や電話での対応に関するマニュアル作成や課内研修、定期的な会議等の実施状況について伺います。</p> <p>(2) 退職者の再任用により、窓口業務の雰囲気づくりのためのムードメーカー的職員の配置をすべきと思うが、当局の考え方を伺います。</p> |
| 7 | 12 | 長澤勝幸 | <p>1 再生可能エネルギービジョンに基づく対応について</p> <p>(1) 前エネルギービジョンの取組み実績と評価について</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質問者 | 質問事項及び質問要旨 |
|-----|------|-----|--|
| | | | <p>ア 10年間の実績はどうであったか。</p> <p>イ 10年間をどのように評価・総括し、新たな「再生可能エネルギービジョン」策定に盛り込まれているのか。</p> <p>(2) 新たな再生可能エネルギービジョンの推進について</p> <p>ア ビジョンの対象となる12の再生可能エネルギー事業の具体的な取組みについて伺う。</p> <p>イ 特に、固定価格買取制度（FIT）が順次終了する太陽光発電普及について補助制度も含め、今後どういった取組みを考えているのか。</p> <p>ウ 市は、重点プロジェクトとして電力の「地産地消事業を推進」する考えであるが、具体的にどのように進めるのか。</p> |
| | | | <p>2 会計年度任用職員制度導入における諸課題について</p> <p>(1) 制度移行に伴う採用の方法・継続雇用の考え方について</p> <p>ア 原則公募としながらも再度の任用は2回まで公募によらず面接や勤務成績に基づき任用可能としているが、その根拠は何に基づいているのか。また、その後の雇用はどうなるのか。</p> <p>イ 今まで保育士や学校給食調理員などは、3年で雇止めとなり、臨時職員は再雇用されない制度であったが、今後はどういった扱いになるのか。仮に、その縛りがなくなったとすれば、保育士などの確保に対する影響をどのように見込んでいるのか。</p> <p>(2) 勤務条件の変更による予算額と予算の確保について</p> <p>ア 勤務条件に関わる諸手当、有給・無給休暇はどういったものが制度化されるのか。また、諸休暇に対する勤務評価の考え方はどうか。</p> <p>イ 前回の一般質問で、制度改正に伴う予算増は1億6千万円とされているが、その内訳はどういったものか。また、予算の確保について政府は「制度改正により必要となる財源は確保する」としながら、市は「まだはっきりしていない。国からの通知を期待している」としているが、現時点での状況はどうか。</p> |
| | | | <p>3 高郷パークゴルフ場の諸課題について</p> <p>(1) 高郷パークゴルフ場の現状認識と分析について</p> <p>ア パークゴルフ利用者数の現状をどのように分析しているのか。</p> <p>イ 愛好会団体及び登録団体の推移についてどう認識しているのか。</p> <p>ウ 温泉・宴会等とパークゴルフ大会を組み合わせた利用実績をどう分析しているのか。</p> <p>(2) 高郷パークゴルフ場の今後の課題について</p> <p>ア 芝整備について関係者からの要請があるが、今後の対応と課題は何か。</p> <p>イ 関係者からは、さらなる地域振興と大会誘致などコースの増設を求める声が地元や愛好者などから出ているがどう受け止め、可能性と課題についてどのように捉えているのか。</p> <p>ウ 登録者数及び利用者数の拡大・促進並びに温泉施設と組み合わせ</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質問者 | 質問事項及び質問要旨 |
|-----|------|-------|--|
| | | | <p>せた大会誘致の取組みなど今後の課題は何か。</p> |
| 8 | 3 | 山口文章 | <p>1 都市再生整備計画事業について 都市再生整備計画事業（塩川駅周辺地区）における塩川駅東西自由通路・周辺整備計画の内容と現状及び進捗について伺います。</p> <p>(1) 整備計画の内容と事業スケジュールについて伺います。</p> <p>(2) 合併時の新市建設計画の中で塩川駅自由通路事業期間が平成21年から平成23年までとなっていたが、遅れた理由について伺います。</p> <p>(3) 全員協議会で報告された都市再生整備計画事業では、新市建設計画で示されていた、塩川駅自由通路事業費4億5千万円が見直され、今回、東西自由通路整備事業費が16億7千万円、他に駅周辺施設整備事業費が7億円となっていた。2つの事業費で23億7千万円となるが、ここまで事業費の差が生じた理由は何か伺います。</p> <p>(4) 平成30年度に実施した塩川町駅周辺整備に関する意見交換会での意見については、今後、どのように計画に反映していくのか伺います。</p> <p>(5) 全員協議会で報告された都市再生整備計画事業は、第1期・第2期工事の計画であるが、2期工事完了後の塩川地区の市街地の整備の方針について伺います。</p> <p>2 防災について 台風第19号による県内外の被害は甚大でした。喜多方市においても各種被害が報告されています。喜多方市の今後の防災活動について伺います。</p> <p>(1) 市は市民に対し、災害情報や避難情報等を防災ラジオで周知しますが、実際の避難時の行動や注意点まで周知できないと思います。市では県発行の防災ガイドブックを平成29年度に市内全戸に配布しており、今回の台風により防災意識が高まっていることから、市として再度防災ガイドブックを配布し、災害に対する備えを市民に再確認してもらいたいと思いますが、再配布等の考えがあるか伺います。</p> |
| 9 | 4 | 十二村秀孝 | <p>1 担い手の規模拡大への支援について 本市では農業従事者の減少・高齢化が進む中、意欲ある担い手へ農地を託したい高齢農家の期待は高まっている現状にあります。そこで次の3点について伺います。</p> <p>(1) 本市の規模別経営体数について伺います。</p> <p>(2) 法人経営の面積割合について伺います。</p> <p>(3) 担い手への支援策について伺います。</p> <p>2 施設園芸の拡大について 来年からJA広域集出荷施設「会津野菜館」が稼働する予定であり、本市においても施設園芸拡大の機運が高まっております。そこで伺います。</p> <p>(1) 国・県事業活用による施設導入の今後の見通しはどのようになっているのか伺います。</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質問者 | 質問事項及び質問要旨 |
|-----|------|-------|--|
| 10 | 9 | 菊地とも子 | <p>1 持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みについて</p> <p>(1) 本市におけるSDGsへの認識と取り組みの現状について</p> <p>(2) 今後の取り組みについて</p> <p>2 三ノ倉高原花畑の事業について</p> <p>(1) 2019年度の実績と評価について</p> <p>(2) 協力金の推移と今後の取り組みについて</p> <p>(3) 今後の展開について</p> |
| 11 | 6 | 小島雄一 | <p>1 少子高齢化の課題と住民自治の推進について</p> <p>鹿児島県鹿屋市の柳谷集落（通称 やねだん）は、高齢化による過疎が進み、耕作放棄地や空き家が増え、地域の衰退が激しく進んでおりました。</p> <p>平成8年に自治公民館長に就任した豊重哲郎氏を中心に行政に頼らない自主財源での地域おこしを提案し、カライモ栽培や焼酎の開発などの事業を進め、見事に地域再生を果たしました。その結果、本年3月13日にふるさとづくり大賞内閣総理大臣賞を受賞されました。</p> <p>このように全国には我々と同じ問題を抱えながら、解決に導いた事例がたくさんあります。それらに学びながら、喜多方ならではの地域おこしをするためには、住民の活力を上げ、ひいては人口減少を解決する新たな体制を早急に整備しなければなりません。その要となるのが住民自治の推進であります。そのような意図を持って以下の質問をします。</p> <p>(1) 「新たな公共」という考え方をどう捉えるか、また、本市の住民自治の方向性を伺う。</p> <p>(2) 行政区長への聞き取りの結果を伺う。</p> <p>(3) 日田市訪問の結果を伺う。</p> <p>(4) 鳥獣害対策の観点から住民自治の必要性を伺う。</p> <p>(5) 中山間地農業対策や多面的機能支払交付金事業等の農業政策の観点から住民自治の必要性を伺う。</p> <p>2 小中学校適正規模適正配置について</p> <p>(1) 進行状況を伺う。</p> <p>(2) 学区の見直しや小規模特認校について改めて伺う。</p> <p>(3) 住民自治との関わりをどのように考えるか伺う。</p> |
| 12 | 10 | 小林時夫 | <p>1 防災・減災対策について</p> <p>(1) 台風第19号とその後の大雨災害から、本市の取り組むべき対策について</p> <p>(2) 災害意識の向上策について</p> <p>(3) 自主防災組織の推進策について</p> <p>(4) 遊水地の整備について</p> <p>(5) 避難所案内看板の進捗状況について</p> <p>(6) 災害応急井戸について</p> <p>2 道路の老朽化対策について</p> <p>(1) スマートフォンを利用した老朽化対策について</p> |
| 13 | 2 | 小澤 誠 | <p>1 政府の介護保険「改革」について</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質問事項及び質問要旨 |
|-----|------|-------|---|
| | | | <p>(1) 来春から始まろうとしている介護保険制度のサービス引下げ、利用者の自己負担増に対して、喜多方市の対策をお尋ねしたい。</p> <p>(2) 介護保険も社会保障制度です。社会保障の財源は国家財政が基本的には賄うべきです。市は国に対してどのような働きかけをしてきたのか。また、来年度の介護保険料引上げの動きに対する対策を示してほしい。</p> <p>2 小学校の統廃合について</p> <p>(1) 誰のための統廃合なのか。</p> <p>(2) 学校「適正規模」の根拠は何か。</p> <p>(3) 「切磋琢磨」論は教育学的俗説ではないか。</p> <p>(4) 小規模校のメリットを最大化することが大切ではないか。</p> <p>(5) 「より望ましい教育環境」は統廃合の前に考えなければならないことではないか。</p> |
| 14 | 18 | 伊藤 弘明 | <p>1 各地区のお祭り、イベントについて</p> <p>(1) 各地区のお祭りの現状と対策について</p> <p>(2) イベントの目指すべきものと現状について</p> |
| 15 | 13 | 渡部 勇一 | <p>1 防災行政について</p> <p>(1) 火災警報器の設置状況について</p> <p>ア 全世帯における割合について</p> <p>イ 高齢者世帯における割合について</p> <p>ウ 高齢者世帯に対する設置補助の内容と取組について</p> <p>(2) 高齢者を火災より守る今後の施策の考え方・方針について</p> <p>ア 防災組織、民生委員との連携はどのようになっているか。</p> <p>イ 近隣住民との連携を考えるべきと思うがどうか。</p> <p>2 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 人口減少対策、人材育成、経済対策に対する施策として教育機関の誘致が有効と考えるが、市長の考え方はどうか。</p> <p>(2) 教育機関誘致の働きかけ、動きがあるのか。</p> |
| 16 | 11 | 坂内 鉄次 | <p>1 災害対応・対処策について</p> <p>(1) この間の台風豪雨災害から学ぶ教訓について</p> <p>(2) 情報の共有化（情報の受発信）について</p> <p>(3) 広大な市域を有する本市の雨量など観測データの把握について</p> <p>(4) 企業、商店、学校、こども園など早めの終業について</p> <p>(5) 行政区、会社など組織ぐるみの逃げる訓練の実施について</p> <p>(6) 街なかの電線の地中化について</p> <p>2 市内地域の均衡ある発展について</p> <p>(1) 地域（住民）自治の強化について</p> <p>(2) 総合支所・地区公民館を核とするまちづくりについて</p> <p>(3) 地域格差の是正について</p> <p>ア 通学格差について</p> <p>イ 集会所の修繕など負担格差について</p> <p>ウ 上下水道の整備格差について</p> |
| 17 | 8 | 蛭川 靖弘 | <p>1 市長就任から任期の半分が経過したことでの半期の総括について</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質問事項及び質問要旨 |
|-----|------|---------|--|
| | | | <p>(1) 市長が政治姿勢として掲げた3つの基本方針、「真の公平さを追求すること」、「地域力を最大に活かすこと」、「国・県との連携を広げること」について伺う。</p> <p>ア 「真の公平さを追求すること」として、実情に即応した柔軟できめ細かい制度の創出と掲げたが、この2年間で実現できたこと、また、実現できていなければ、今後の見通しについて</p> <p>イ 「地域力を最大に活かすこと」として、市民の皆様のご意見を地域づくりに生かせる体制と掲げたが、この2年間で実現できたこと、また、実現できていなければ、今後の見通しについて</p> <p>ウ 「国・県との連携を広げること」として、国・県機関との効果的な人事交流と掲げたが、この2年間で実現できたこと、また、実現できていなければ、今後の見通しについて</p> <p>(2) 平成30年第3回定例会で施政方針について、総合計画の大綱に沿ってそれぞれ目標を掲げているが、大綱ごとの達成度について伺う。</p> <p>2 旧喜多方商業高校跡地の利活用について 9月定例会で、企画政策部長が商業高校跡地については、基本構想はあるが、まだ財源計画まで至っていないとの答弁があったことから、次の3点について伺う。</p> <p>(1) 基本構想の概要について伺う。</p> <p>(2) その後の進捗について伺う。</p> <p>(3) 今後の具体的なスケジュールについて伺う。</p> |
| 18 | 15 | 田 中 雅 人 | <p>1 塩川駅の東西自由通路の整備事業について 塩川駅の駅西と駅東を結ぶ、仮称「東西自由通路」の整備は平成18年市町村合併時からの整備案件である。</p> <p>(1) 事業整備の経過と工期、事業費を伺う。</p> <p>(2) JRとの関係で特殊事情があるのか伺う。</p> <p>2 小規模特認校について 栃木県宇都宮市立城山西小学校では、児童数が減り廃校の危機となった14年前に小規模特認校の指定を受け、多くの努力を重ねながらその危機を乗り越えた実例があります。「小さな学校だからこそできること」をモットーに「児童一人一人に寄り添った教育」を実践したことによる教育効果は大きい。</p> <p>(1) 小規模特認校の認識と特徴について伺う。</p> |